

研究課題	中華民国から中華人民共和国建国期の書教育理論の研究		
氏名	草津 祐介	所属	芸術・スポーツ科学系
		職名	准教授
APRIN e-ラーニングプログラムの受講 ☒ - 受講済の場合はチェックをすること			
【研究成果の概要】 （文字の大きさ 9 ポイント・字数 800 字～1600 字程度） 本研究では中華民国から中華人民共和国建国期の変容期に着目し、どのような書教育理論が提唱され、議論されてきたのかを具体的に分析していき、中国近代書教育史構築のための基礎的研究とすることを目的にしておこなった。 そのために、申請時に以下の通り研究計画を立てた。 当時の教育思想の考察と書教育への影響についての分析。 書教育理論に関する言説の分析。 中華民国、中華人民共和国における書教育の教材分析。 この研究計画における ～ について、以下の通り研究成果を得ている。 当時の教育思想の考察と書教育への影響についての分析 書教育理論に関する言説の分析 某大学図書館に民国期からの『人民日報』の原本が保管されていることを発見し、基本的な方針として『人民日報』を材料に ～ を分析していくことにした。 そのなかで、華北人民政府時代の教育政策に関わる記事が多く抽出でき、とりわけこれまで、中華民国から中華人民共和国という流れで書教育史を見てきたが、本研究成果により、中華民国、華北政府、中華人民共和国とその制度、思想の流れを分析できた。 本研究成果については、今年度の全国大学書写書道教育学会福岡大会にて発表を予定している。 中華民国、中華人民共和国における書教育の教材分析 資料収集を進めるとともに、『國民小學書法』および『書法練習指導』の教材、教科書を研究対象として分析を進めた。日本の高等学校芸術科書道の検定済み教科書と比較分析することにより、それぞれの特色を明確にするとともに、日本の教科書の課題についても考察を進めることができた。 本研究成果について、『國民小學書法』を中心にした比較分析については、「目標および教材の比較分析を通じた日台書教育研究」(日本語タイトル)というタイトルで、「2024 東亜書法研究国際学術検討会」(台湾・華梵大学東亜書法研究中心主催、2024 年 6 月 1 日 2 日)にて発表する予定である。 また、『書法練習指導』を中心にして比較分析については、「芸術科書道における漢字文化の特徴—『書法練習指導』との比較を通して—」(日本語タイトル)というタイトルで、「芸術学視野下的漢字与図像国際学術検討会」(山西大学美術学院主催、2024 年 6 月 23 日 24 日)にて発表する予定である。 【研究成果発表方法】 ・「人民日報からみる中華人民共和国建国期の書法教育」(2023 年 8 月 21 日、六英社)でおこなわれた「書文化研究会」にて中間発表をおこなった。 ・研究計画 ～ のテーマに関連して、今年度の全国大学書写書道教育学会福岡大会にて発表を予定している。 ・研究計画 ～ のテーマに関連して、「2024 東亜書法研究国際学術検討会」(台湾・華梵大学東亜書法研究中心主催、2024 年 6 月 1 日 2 日)および「芸術学視野下的漢字与図像国際学術検討会」(山西大学美術学院主催、2024 年 6 月 23 日 24 日)にてそれぞれ発表する予定である。			

発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入すること。

本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに 1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。